

ニューズレター雪氷北信越

No. 43 平成7年5月12日
(社) 日本雪氷学会北信越支部発行

目次

第8回総会・研究発表会・製品発表検討会案内/理事幹事会・顧問評議員会報告/
学習会・技術部会報告/研究発表会の案内/ワ・ラ・ム/その他

第8回総会および研究発表会・製品発表検討会 5月27日(土)開催

※プログラムは3～5頁です。奮ってご参加下さい。なお、同封の
出欠票および委任状を5月20日までにご投函下さい。

報告

理事・幹事会/顧問・評議員会 報告

4月28日(金)、長岡技術科学大学建設系会議室において、平成7年度第1回理事・幹事会が開催された。平成6年度の事業報告・会計報告が審議され承認された。つぎに平成7年度役員について事務局案が審議され、若干修正して支部総会に提出することとなった。平成7年度の事業計画・予算案が審議され承認された。支部賞選定委員会から平成7年度支部賞授賞者案について報告があり、審議の結果、下記の通りの授賞が承認された。

- | | |
|-------|--|
| 雪氷技術賞 | 村本健一郎・椎名 徹 及び(株)インテック
「画像処理方式による降雪観測装置の開発と普及の功績」 |
| 雪氷技術賞 | ソーラーシステム株式会社 代表 湯本喜久雄
「屋根融雪システムの開発と普及の功績」 |
| 雪氷技術賞 | 農事組合法人グリーンファーム 代表理事組合長 横 守
「新しい雪中貯蔵施設の先駆的開発と普及の功績」 |
| 大 沼 賞 | 須藤伊佐夫・遠藤 徹
「長年にわたる積雪及び気象観測、並びに鉄道の雪氷防
災研究に尽くした功績」 |
| 雪氷功労賞 | 高瀬信忠
「石川・富山地区の支部活動に著しく貢献した功績」 |

5月27日福井で開催される平成7年度支部総会、研究発表会・製品発表検討会のスケジュールが報告された。このあと引き続き、顧問・評議員会が開催された。

学習会・技術部会

「新潟地区学習会」及び「雪崩の力学研究技術部会」の報告

平成7年4月28日(金) 10:20～12:00 に長岡技術科学大学において、早川典生先生を講師に迎えて「ガゼックス実験をとらえて見た雪崩の力学」という題名で表記会合が開催された。

ガゼックスは、ガス爆発による雪崩コントロールを目的に元来欧米の山岳地帯で用いられてきたものである。我国では、アライリゾートスキー場で初めて用いられており、そこでの実験結果をもとに、ガゼックスの利点・欠点が紹介された。なお参加者は10名であった。

(納口幹事 記)

研究発表会

福井雪害対策研究会研究発表会のお知らせ

総会および研究発表会を下記のように開催します。終了後懇親会を予定しています。当会会員外でも参加できますのでよろしく。

日時：平成7年6月30日（金） 15:00～17:00
場所：福井大学福応会館
福井市文京3丁目9-1（TEL.0776-23-0500）
主催：福井雪害対策研究会
後援：（社）日本雪氷学会北信越支部
内容：橋面の凍結測定（福井大学 福原輝幸氏）
（予定）ニューラルネットによる積雪深変化（福井工業大学 前田博司氏）
湿り雪の融解観測（仮題－福井大学 伊藤文雄氏）
問合先：福井市春日3丁目303（TEL.0776-35-2412）
福井県雪害対策技術センター 杉森正義

お知らせ

「水と川への夢やアイデア」募集

主催：水21物語委員会
後援：建設省、北海道開発庁、沖縄開発庁、水資源開発公団
協賛：（財）河川環境管理財団 外10団体

募集テーマ：「雨から海まで、水と川の21世紀」
将来、川や水をこんな風に利用・活用していきたい、暮らしや産業にこう生かしたい、こういう機能・景観をもった川になってほしい、というようなアイデアをご応募下さい。

応募資格：年齢、性別、国籍を問わず、誰でも可（グループも可）。

部門：＊一般部門（16才以上）
＊ジュニア部門（15才以下）

応募方法：あなたの夢やアイデアをAかBいずれかの方法で郵送にてご応募下さい。

A：作文（400字詰めB4原稿用紙10枚以内）＋簡単なイラスト
B：絵・イラスト（B2からB4までの用紙）＋簡単な説明文

応募締切：平成7年6月30日（金）、当日消印有効

発表：平成7年11月下旬～12月上旬予定

賞：＊「水21物語」大賞（各部門1点）
＊優秀賞（各部門5点）
＊夢・アイデア賞（各部門5点）
＊佳作（各部門20点）

応募先・お問合先：
（財）国土開発技術研究センター「水21物語」事務局
〒105 東京都港区虎ノ門2-8-10 第15森ビル
TEL:03-3503-0393

平成7年度 (社)日本雪氷学会北信越支部
総会、研究発表会・製品発表検討会

日時：平成7年5月27日(土)
場所：福井県民会館

プログラム

- ◆総会(12:45~13:30)
- ◆平成7年度文部賞授賞式(13:30~13:45)
- ◆研究発表会・製品検討発表会 I~VI(13:45~17:00)

☆第1会場(7階大会議室)

- ・研究発表会・製品発表検討会 I(13:45~14:45)
座長 田村盛彰(小千谷高等学校)

発表時間は12分
(質疑応答を含む)

1. 散水による新雪の変質過程

○河島克久、遠藤 徹(財)鉄道総合技術研究所)

2. 延流水実験

藤野丈志(株)興和)、○対馬勝年(富山大学理学部)

3. 光学式降雪強度計(WIVIS)による冬季降水観測

○飯倉茂弘、河島克久、遠藤 徹、藤井俊茂(財)鉄道総合技術研究所)

4. 反射式積雪深計の小型軽量化

丸山敏介、石丸民之永、○加藤 務(新潟電機(株))、木村忠志(北海道)

5. 水滴計数式降雪強度センサー・CSN-501

茅 亮(株)荏原)、○石丸民之永、加藤 務、宮腰秀巳(新潟電機(株))

・休憩(14:45~15:00)

・研究発表会・製品発表検討会 II(15:00~16:00)

座長 遠藤八十一(森林総合研究所十日町試験地)

6. 高速空気流による雪の管内輸送システムの開発-実用化に際しての問題点-

○植原健太郎、元井恒彦、山口 肇、佐藤和秀、岩田 実(長岡工業高等専門学校)

7. 雪の空気力管路輸送-上昇傾斜管における摩擦係数-

○宮江伸一(金沢大学)、見浦史一(三協アルミ)

8. ガゼックスにより誘発された雪崩の数値解析

早川典生、福嶋祐介(長岡技科大)、川田邦夫(富山大)、上石 勲(株)アルコス)、山田正則(新井リポート)、千葉京衛(仙台道路エンジニアリング)、
○根城寿彦(長岡技科大)

9. パンチカードによる防雪施設の選択

阿部 勉(関越ロードメンテナンス(株))

10. 福井県における雪崩災害

○和泉 薫、小林俊一(新潟大災害研)、大関義男(元森林総合研究所)

・研究発表会・製品発表検討会 III(16:00~17:00)

座長 阿部 勉(関越ロードメンテナンス(株))

11. 中央アルプス宝剣岳千畳敷雪崩災害調査

○山田 稔、五十嵐高志、納口恭明(長岡雪氷研)、和泉 薫(新潟大災害研)

12. 1994-95年冬期の雪崩災害と群馬県片品村前武尊での雪崩遭難

○和泉 薫(新潟大災害研)、山田 稔、五十嵐高志、納口恭明(長岡雪氷研)

13. 1995年湯沢町布場スキー場と守門村大倉の全層雪崩調査

○遠藤八十一、小南裕志(森林総研・十日町)、和泉 薫(新潟大災害研)、山田 稔、納口恭明、五十嵐高志、河島克久(長岡雪氷研)

14. 冬季歩行転倒に関する一実験

○小林俊市、納口恭明(長岡雪氷防災実験研究所)

15. 落し穴としての積雪で覆われた水路について

○納口恭明、五十嵐高志、岩波 越(長岡雪氷防災実験研究所)

☆第2会場(7階第2教室)

・研究発表会・製品発表検討会 IV(13:45~14:45)

座長 石坂雅昭(富山市科学文化センター)

16. 融雪水中の溶存成分濃度の実験研究(2)

佐藤和秀(長岡高専)、○小林昭規(長岡技科大)、小林隆幸((株)植木組)

17. 積雪の誘電的性質のその場観察

竹井 巖(北陸大学)

18. TDR法による雪の含水率測定

○井上 聡、小南裕弘(北陸農業試験場)

19. 積雪の平均粒子径の熱学的測定 II

伊藤文雄(福井大学)

20. 中国黒龍江省と長岡市の積雪の化学特性-1994年冬季-

佐藤和秀(長岡高専)、○名古屋和史(長岡技科大)、星 裕丈(東亜道路(株))

・休憩(14:45~15:00)

・研究発表会・製品発表検討会 V(15:00~16:00)

座長 竹井 巖(北陸大学)

21. 降雪定量観測のための次世代レーダの検討

○藤井秀幸(長岡技科大大学院)、小池俊雄、早川典生、原田昌信(長岡技科大)

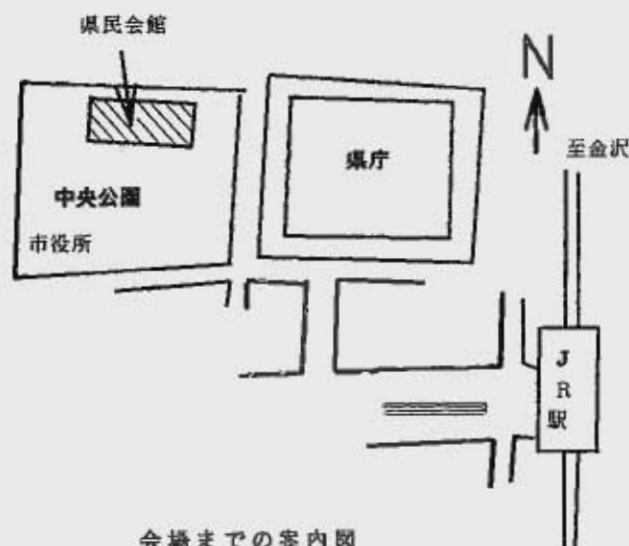
22. 雪片の密度

石坂雅昭(富山市科学文化センター)

23. 固定微水滴中に成長する雪結晶
田中万里子（トライ）、○武藤 薫、対馬勝年（富山大学理学部）
24. 降雪センサーを用いた降水の導電率の変動
○佐藤和秀（長岡高専）、石丸民之永、丸山敏介（新潟電機（株））
25. 粒径と落下速度をパラメータとした降雪観測データベース
椎名 徹、○丸山光明、釣 健孝（富山高専）、北野孝一、高木繁則（株）インテック）、村本健一郎（金沢大学）
- ・研究発表会・製品発表検討会 VI（16:00～17:00）
座長 佐藤和秀（長岡工業高等専門学校）
26. 画像処理方式降雪観測装置を用いた最近10年間の降雪状況
○椎名 徹、釣 健孝（富山高専）、北野孝一、増山敏之、高柳 登（株）インテック）、村本健一郎（金沢大学）
27. 切妻屋根上の吹きだまりの水中モデル実験
○上村靖司（長岡技科大）、M. J. O'Rourke（RPI）
28. 蓄熱剤格納による路面凍結緩和の開発（その1、地盤上）
宮本重信（福井県雪対策技術センター）
29. 蓄熱剤格納による路面凍結緩和の開発（その2、鋼床版橋上）
宮本重信（福井県雪対策技術センター）
30. 地下水による道路消雪と地下水位低下について
○杉森正義（福井県雪対策技術センター）、福原輝幸（福井大学）

◆懇親会（17:30～19:00）

※JR福井駅から徒歩10分です。



『雪と氷の世界－雪は天からの恵み－』

若狭五郎著

36年間雪氷の世界に学んでこられた著者の豊富な知識を集大成するとともに、一般の人々にもわかりやすく平易に書かれている。豊富な写真のほとんどがカラーで、特に氷河の写真は美しい。
(東海大学出版会 1,854円)

『建築教材 雪と寒さと生活Ⅰ 発想編』

日本建築学会編
(彰国社 3,090円)

『建築教材 雪と寒さと生活Ⅱ 事例編』

日本建築学会編
(彰国社 2,400円)

ともに、1982年に大学、工専などの建築教育用教材として発刊されたものの改訂版である。最新のデータや建築実施例を用いてわかりやすく説明されている。

話題

氷の字のつく苗字はいくつあるか？

No.42の雪の字のつく苗字に引き続き、今回は氷の字のつく苗字について調べた。その結果、現存の日本人の「姓氏」(苗字)の総件数約13万の中で「氷」の字のつくものは58件あった。これは「雪」の字のつく苗字80件にくらべるとやや少数である。そのうち、氷の字が上につくものが圧倒的に多く46件、下につくものが10件、また「氷」一字のみで読み方の異なるものが2件あり、合計58件となった。下記に難しい読み方の例を示す。

氷 (コオリ、ヒ)
氷輕馬 (コオリカルメ、ヒノカルメ)
氷蛙 (ヒイル)
解氷 (ケラ、ケレ)
氷取 (ニットリ)
氷興 (リョウゴ)

* 出典：日本姓氏大辞典(表音編) 一角川書店刊

(小林幹事 記)

その他

『ニューズレター雪氷北信越』について

ニューズレターに関するお問い合わせは
長岡雪氷防災実験研究所 小林俊市

TEL. 0258-35-7522
FAX. 0258-35-0020

までお願いします。